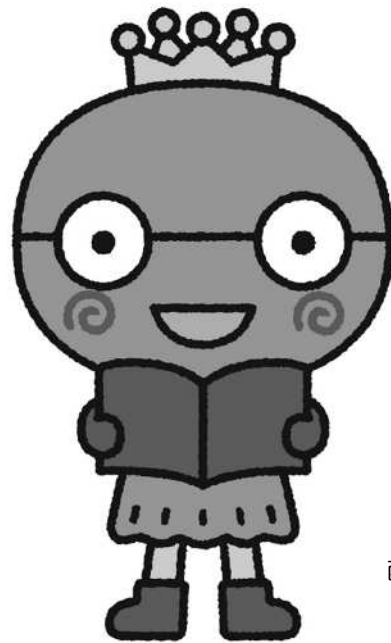


西宮市子供読書活動推進計画

平成31年度(2019年度)～平成35年度(2023年度)



西宮市観光キャラクター
みやたん

西 宮 市

目 次

第1章 はじめに

- 1 社会的背景等 …… 1
- 2 国・県・西宮市の動向 …… 2

第2章 平成25年度～平成30年度の取り組み

- 1 取り組み内容 …… 3
 - (1) 保育所・子育て支援施設・幼稚園等での取り組み …… 3
 - (2) 市立学校での取り組み …… 3
 - (3) 市立図書館での取り組み …… 4

第3章 西宮市の現状

- 1 児童・生徒の読書の状況 …… 5
- 2 家庭での読書の状況 …… 8
- 3 大人の読書の状況 …… 9

第4章 西宮市子供読書活動推進計画（平成31年度～平成35年度）

- 1 国の取り組み …… 10
- 2 本市の課題 …… 10
- 3 基本方針 …… 10
- 4 計画の期間 …… 11
- 5 計画の対象 …… 11
- 6 具体的施策 …… 11
 - (1) 家庭における取り組み …… 11
 - (2) 学校園・保育所等における取り組み …… 13
 - (3) 地域（市立図書館等）における取り組み …… 15
- <参考とする指標> …… 18

第5章 推進体制

1 関係部署間の連携	…… 19
2 推進状況の把握と評価	…… 19
3 広報の充実	…… 19
4 事業費について	…… 19

●資料

(資料1) 第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(文部科学省)

(資料2) 平成29年度子ども読書活動実績報告書

(資料3) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)[抜粋]

(資料4) 読書に関する保護者アンケート

●用語説明

図表や資料の統計において、各選択肢の構成比(%)合計が100%にならない場合があります。これは、無回答・誤回答・端数処理によるものです。

第1章 はじめに

1 社会的背景等

『子どもの読書活動の推進に関する法律』(平成13年12月制定、以下「法律」という。)において、「子ども(おおむね18歳以下の者をいう。)の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」(第2条)と基本理念を定め、国では、平成30年4月に『子供の読書活動の推進に関する基本的な計画』(第四次)を策定し、子供の読書活動の推進に関する施策を総合的に推進しています。

本市においても、法律の理念に沿い、平成20年10月に『西宮市子ども読書活動推進計画』(以下「計画」という。)を策定し、平成25年7月の改定を経て、図書館や学校、地域、家庭において様々な子供の読書活動に取り組んできました。

この5年間を振り返ると、ICT技術の発達を始め、子供たちのスマートフォン利用率が増加して、SNS(ソーシャルネットワークサービス)や通信ゲームなどが身近になり、子供たちのコミュニケーションや情報へのアクセス方法が多様化してきました。毎年全国規模で実施されている「学校読書調査^{*1}」結果のうち、「児童生徒一人当たりの1か月の平均読書冊数」を平成25年と平成29年の結果で比較すると、小学生10.1冊→11.1冊、中学生4.1冊→4.5冊、高校生1.7冊→1.5冊でした。また、「不読率(全く本を読まない割合)」は、小学生5.3%→5.6%、中学生16.9%→15.0%、高校生45.0%→50.4%となっており、全国各所で子供の読書活動の推進に取り組んできましたが、大きな成果が見られず、高校生にいたっては、不読率が5ポイント以上増えています。

そして、平成29年に改訂された学習指導要領では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指し、その際に、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し連携する、「社会に開かれた教育課程」を重視することを改訂の基本方針としています。さらに、同学習指導要領解説(総則編)では、『読書は、多くの語彙や多様な表現を通して様々な世界に触れ、これを疑似的に体験したり知識を獲得したりして、新たな考え方に合うことを可能にするものであり、言語能力を向上させる重要な活動の一つである』と、読書活動の充実について規定しています。

このような状況を踏まえ、本市においては、読書の喜びを知り、豊かな心を持って「自ら考え、判断する力」を身につけ、人と人とのつながりを大切にできる人の育成を目指し、子供が自主的、自発的に読書活動を行うことができる環境整備を積極的に進めるために、本計画を「第5次西宮市総合計画」の部門別計画に位置付け、子供の読書活動の推進に取り組みます。

2 国・県・西宮市の動向

(1) 国の動向

- 平成11年 8月 (1999年) 平成12年を「子ども読書年」とする旨を衆参両議院で議決
- 平成12年 1月 (2000年) 「国際子ども図書館」設立 (同年5月開館)
- 平成13年12月 (2001年) 「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定
- 平成14年 8月 (2002年) 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成20年 3月 (2008年) 第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成25年 5月 (2013年) 第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
- 平成26年 6月 (2014年) 学校図書館法の改正
- 平成29～31年 (2017～19年) 学習指導要領の改訂
- 平成30年 4月 (2018年) 第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

(2) 兵庫県の動向

- 平成16年 3月 (2004年) 「ひょうご子どもの読書活動推進計画」策定
- 平成21年 9月 (2009年) 「ひょうご子どもの読書活動推進計画」(第二次)策定
- 平成27年 3月 (2015年) 「ひょうご子どもの読書活動推進計画」(第三次)策定

(3) 西宮市の動向

- 平成20年10月 (2008年) 第4次西宮市総合計画の部門別計画として、「西宮市子ども読書活動推進計画」策定 (計画期間：平成20年度～24年度)
- 平成25年 7月 (2013年) 「西宮市子ども読書活動推進計画」改定 (計画期間：平成25年度～30年度)
- 平成27年 4月 (2015年) 「西宮市立図書館基本的運営方針」策定
「西宮市立図書館事業計画」策定 (計画期間：平成27年度～30年度)

第2章 平成25年度～平成30年度の取り組み

1 取り組み内容

前計画では、①「子供の自主性を尊重します」②「大人が手本となるよう、理解と協力を求めます」③「関係機関は読書環境の整備を図ります」を基本的方針として、各関係機関の現状と課題を踏まえた取り組みを行いました。(資料2)

(1) 保育所・子育て支援施設・幼稚園等での取り組み

保育所・子育て支援施設・幼稚園等では、乳幼児期の子供にとって、本との出会いは大人の介在なくしては成立しないことを前提に、子供が絵本とふれあうきっかけづくりとして、様々な機会を活用した読み聞かせなどを行いました。また、保護者に対しても、絵本の貸出や読み聞かせ講座を開催するなど、家庭において多くの本に触れられる環境づくりに取り組みました。

- ・マザークラス^{※2}での読み聞かせ講座の開催（社会教育課）
- ・園庭開放、短期体験保育などにおいて参加者が絵本にふれる機会の提供や絵本の選び方のアドバイス（保育所）
- ・読み聞かせの会の開催（子育て総合センター）
- ・子育て支援者を対象とした研修会の実施（子育て総合センター）
- ・乳幼児を対象とした読書活動関連事業の実施（児童館・児童センター）
- ・地域と連携した読み聞かせなどの実施（児童館・児童センター）
- ・絵本講師や大学の教員を招聘しての職員研修の実施（幼稚園）
- ・絵本の貸出（幼稚園）
- ・絵本の部屋、絵本コーナーの整備（幼稚園）

(2) 市立学校での取り組み

市立学校では、読書活動の環境整備と子供の読書習慣の確立を目指して、学校図書館の運営に係る人員の配置と図書資料の整備に努め、朝の読書・おはなし会・読書感想文コンクールなど、読書に親しむ機会を充実させました。

- ・「学校文化の拠点となる学校図書館」運営を目指した「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」としての機能充実
- ・学校図書館経営計画の策定と計画的な運営
- ・学校図書館教育担当者会の開催
- ・「西宮市学校図書館運営の手引き」、「西宮市小学校図書館の学習基本図書^{※3}」、「小学校学校図書館を活用する授業-授業資料集-」など各資料の活用
- ・学校図書館指導員^{※4}及び学校図書館指導員講師による学校図書館教育担当者（司書教諭等）への活動支援

- ・教科指導等相談事業の実施
- ・「いずみ」(EduNet)^{※5}への学習指導案などの掲載
- ・西宮市学校図書システム(LB@SCHOOL)による各校図書館蔵書情報のネットワーク化、相互貸借
- ・「読書の達人認定証」の発行
- ・読み聞かせ^{※6}、聞かせ読み^{※7}、アニメーション^{※8}、ブックトーク^{※9}を取り入れた授業展開
- ・読書ノート^{※10}の活用
- ・読書週間や朝の読書、「読んでごらんおもしろいよ」クイズ、ビブリオバトル^{※11}など、読書推進に係る行事の実施
- ・「読書感想文コンクール」「読書感想画コンクール」への参加
- ・読書会及び図書委員の集いの実施
- ・西宮養護学校を特別支援教育のセンター校と位置付け、特別な支援を必要とする児童・生徒が読書活動を楽しむための工夫と研究の推進
- ・学校図書館ボランティアとの連携
- ・市立図書館との連携(蔵書の収集・廃棄、「読んでごらんおもしろいよ」の発行など)

(3) 市立図書館での取り組み

市立図書館では、児童書の充実や楽しい読書環境づくりに取り組むとともに、ボランティアとの協働によるおはなし会を実施するなど、読書活動の推進に努めてきました。

また、学校との連携事業として、ブックトークや公用貸出^{※12}を行うなど、子供たちの読書意欲を高める取り組みを行いました。

- ・「西宮市立図書館基本的運営方針」及び「西宮市立図書館事業計画」の策定
- ・西宮市立小中学校、西宮養護学校との連携(公用貸出、学校図書館蔵書の収集・廃棄への支援、ブックトークなど)
- ・ブックリスト「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」の発行及びカラー化
- ・学校との連携によるブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」の発行及びカラー化
- ・外国語絵本の収集、外国語によるおはなし会の実施
- ・ボランティアとの協働及び大学との連携による集会行事の開催
- ・子育て総合センターや児童館などへのボランティアの派遣
- ・高等学校図書館との相互貸借^{※13}や私立学校との交流

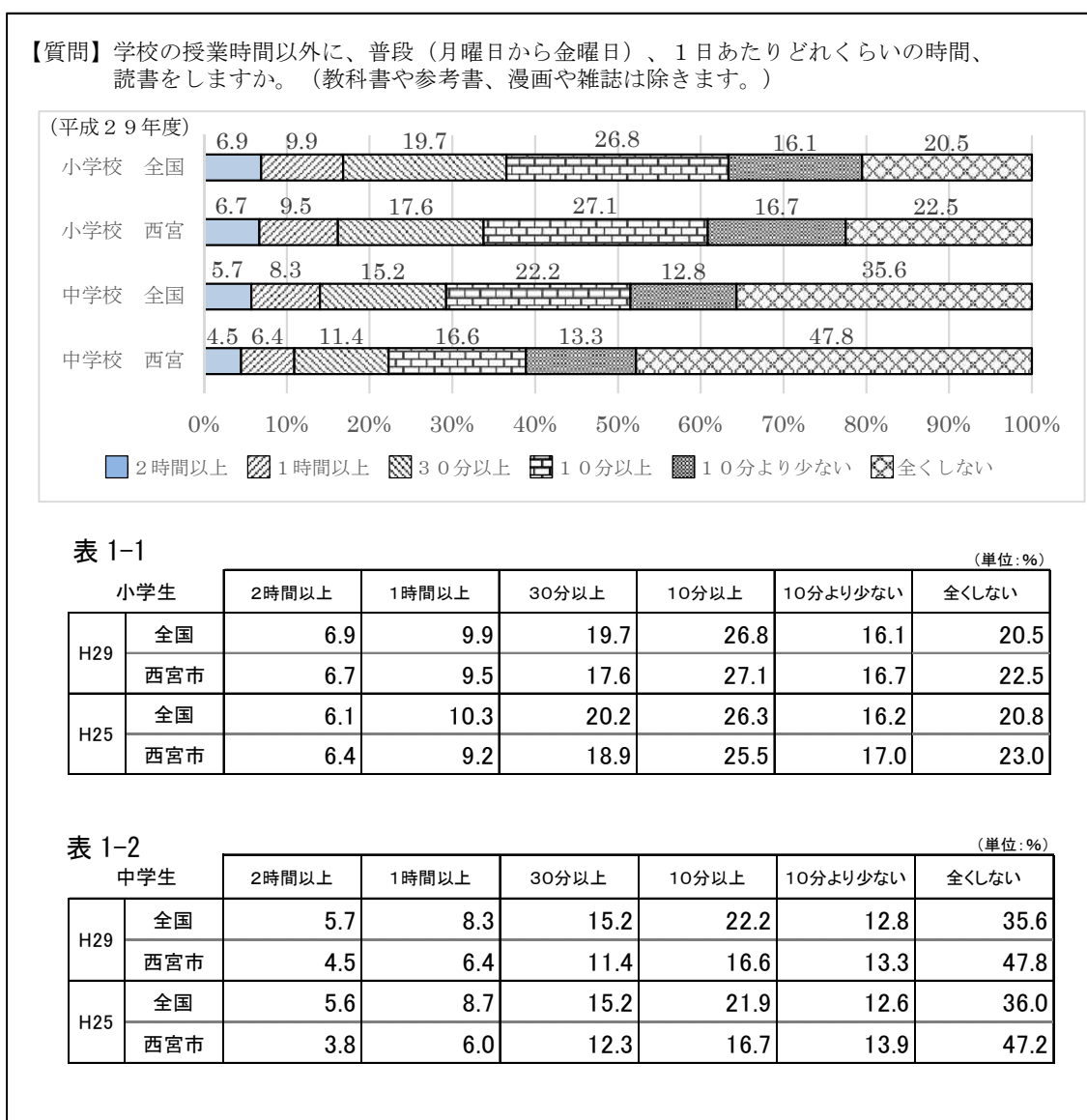
第3章 西宮市の現状

1 児童・生徒の読書の状況

平成29年度実施の文部科学省全国学力・学習状況調査から、西宮市の児童・生徒の読書状況について、次のことが分かります。

図表1の「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をするか」に対する回答では、小学生・中学生ともに、全国平均と比べて読書の時間が少ないものの、平成25年度の結果と比較すると、「1時間以上」または「2時間以上」読書をする児童・生徒の割合は上昇傾向にあります。（表1-1、表1-2）

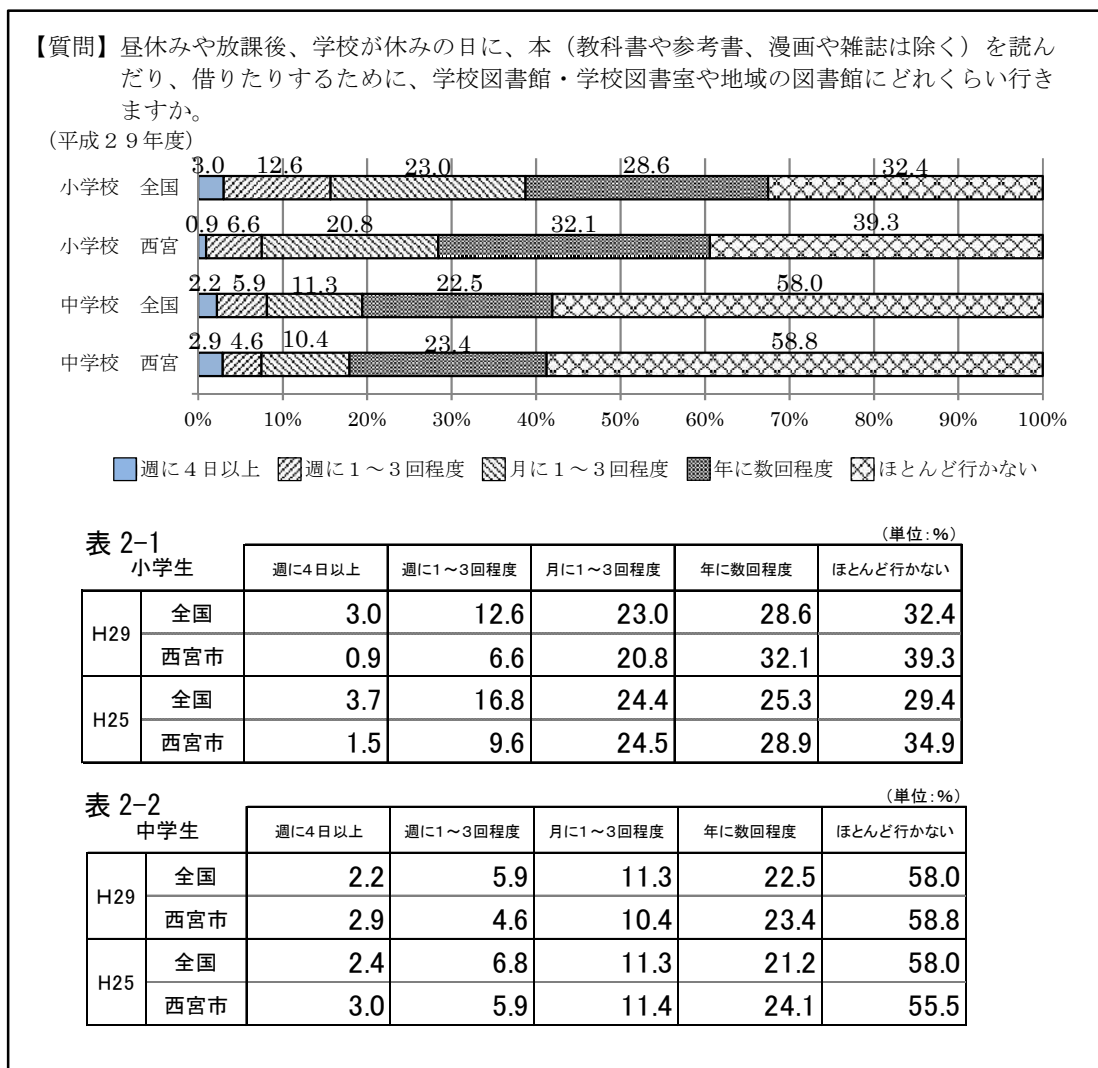
【図表1】



図表2の「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」に対する回答では、「年に数回程度」と「ほとんど行かない」を合計すると小学生で71.4%(全国61.0%)、中学生で82.2%(全国80.5%)と、授業以外の活用が少ない状況です。

図表1及び図表2を踏まえて、本を全く読まない児童・生徒が読書への興味をもち、図書館に足を運びたいようになるように、学級担任や保護者など周りの大人による働きかけを行うとともに、計画的な図書の購入・廃棄や、興味を引く掲示・レイアウトなどを行うことで、児童・生徒にとって魅力ある図書館作りを推進することが必要です。

【図表2】



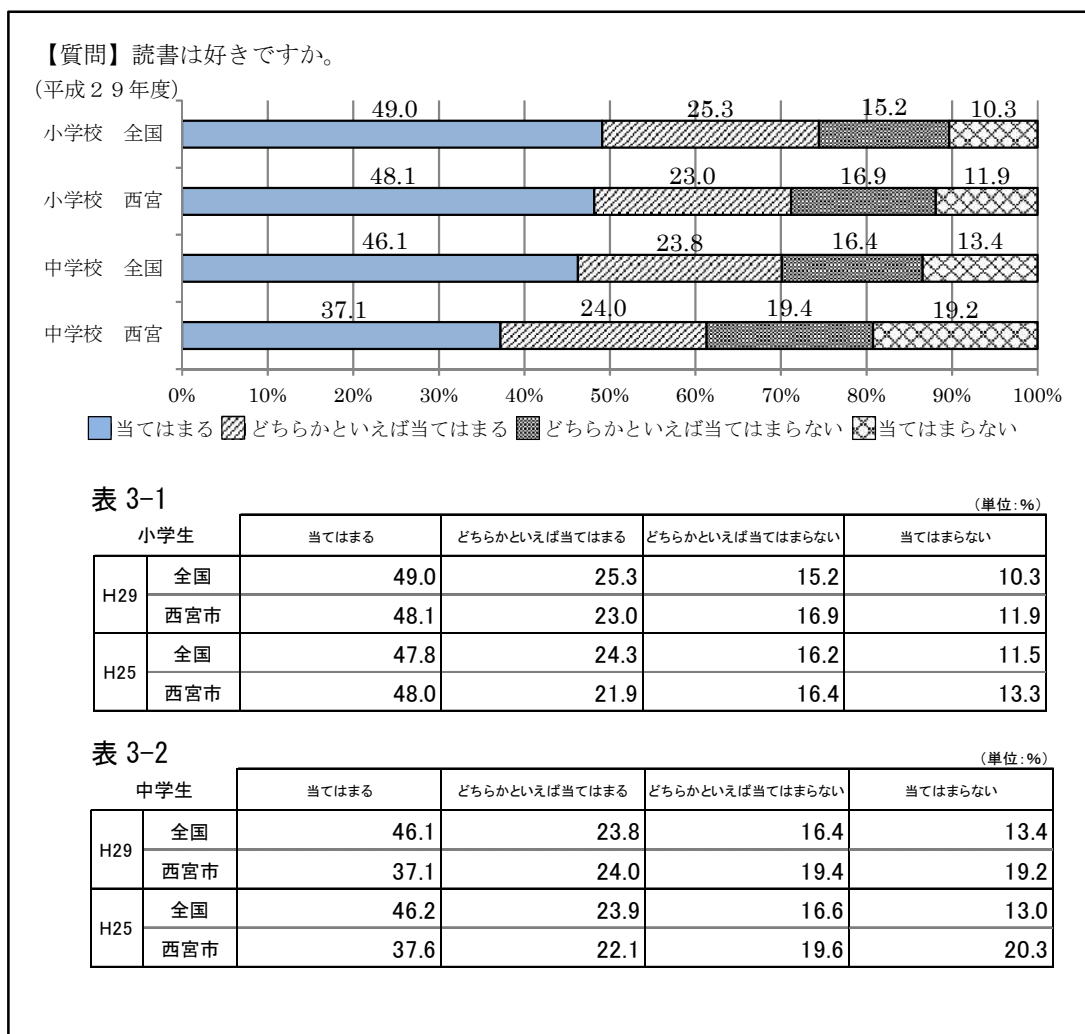
図表3の「読書は好きですか」に対する回答では、小学生は全国平均と大きな差がありません。中学生では「当てはまる」と回答した割合は、全国平均と比べて9.0%、西宮市が低くなっています。

また「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答を合わせると、小学校では71.1%(全国74.3%)、中学校では61.1%(全国69.9%)であるのに対して、図表1の読書活動の状況は「10分以上」から「2時間以上」までの回答を合わせても、小学校では60.9%(全国63.3%)、中学校では38.9%(全国51.4%)となっており、読書意欲と実際の読書活動に差があります。

これは、中学生になると全国的な傾向として部活動など読書以外の活動に時間が費やされることや、スマートフォンの普及などが影響していると思われます。特に、本市では、通学がほとんど徒歩であり通学中に読書をするのがなく、また、学習塾や習い事に熱心な傾向が見られることから、全国平均と比較して、読書活動の時間が多くない現状があると考えられます。

こうした要因を踏まえて、児童・生徒が多くの本にふれる機会を持ち、読書に親しむことができるよう、読書相談や魅力ある事業の実施など児童・生徒の発達段階や個性に応じた取り組みが必要です。

【図表3】



2 家庭での読書の状況

平成30年度に市立図書館が保護者を対象に実施した家庭での読書活動に関する調査によると、小学生の保護者の97.0%、中学生の保護者の94.3%が子供の乳児期に読み聞かせを行っています。（図表4）

さらに、保護者が子供だった頃の読書活動の状況と読み聞かせの状況をクロス集計したところ、比較的読書量が少なかったと感じている保護者も子供に対して読み聞かせを行っており、本市において、読み聞かせが保護者に広く認知されていることがわかります。

（図表5）

【図表4】

【質問】あなたのお子さんが赤ちゃんの頃、絵本の読み聞かせをしましたか。						
	小学生の保護者		中学生の保護者		計	
	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)	回答数 (人)	割合 (%)
① 日常的にした	278	45.6	71	57.7	349	47.7
② 時々した	313	51.4	45	36.6	358	48.9
③ 全然しなかった	18	3.0	7	5.7	25	3.4
計	609	100.0	123	100.0	732	100.0

【図表5】

		【質問】あなたのお子さんが赤ちゃんの頃、絵本の読み聞かせをしましたか。			
		①日常的にした	②時々した	③全然しなかった	
【質問】あなたは子供の頃、同年代の子供と比較してよく本を読んだほうだと思いますか。	小学生の保護者	①はい	53.5	44.2	2.3
		②いいえ	41.5	54.2	4.2
		③どちらでもない	40.8	57.3	1.9
	中学生の保護者	①はい	58.3	35.0	6.7
		②いいえ	54.1	40.5	5.4
		③どちらでもない	61.5	34.6	3.8

（単位：％）

3 大人の読書の状況

平成30年7月に本市が市政モニター調査として、大人の図書館利用と読書の状況に関する調査を行ったところ、1日平均の読書時間(漫画や雑誌を除く)が1時間未満の人が57.4%、全く読書をしない人が20.0%となっています。(図表6)

また、言葉や文字の意味を調べる手段としては、紙の辞書が16.0%であるのに対して、スマートフォンが55.4%となっており、多くの人がスマートフォンを使っていることがわかります。(図表7)

※市政モニター：18歳以上の西宮市民から平成30年度は440人に委嘱。今回の回答数は401人

【図表6】

【質問】1日あたり平均どれくらいの時間、読書(漫画や雑誌を除く)をしますか。
(1つ選んで○)

(単位：%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
2時間以上	0	0	0	5.8	0	5.6	6.3	4.3	3.2
1時間以上2時間未満	0	12.1	6.2	3.5	9.7	22.5	20.8	26.1	12.5
30分以上1時間未満	33.3	6.1	18.5	34.9	27.8	26.8	31.3	30.4	26.4
10分以上30分未満	33.3	24.2	27.7	23.3	29.2	25.4	27.1	21.7	25.9
10分未満	33.3	12.1	13.8	12.8	13.9	9.9	6.3	4.3	11.5
全くしない	0	45.5	33.8	19.8	18.1	9.9	8.3	8.7	20.0
無回答	0	0	0	0	1.4	0	0	4.3	0.5

【図表7】

【質問】言葉や文字で意味を知りたい場合、主にどのような手段で調べますか。
(1つ選んで○)

(単位：%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	全体
紙の辞書	0	0	6.2	1.2	15.3	23.9	37.5	56.5	16.0
電子辞書	33.3	0	0	3.5	2.8	7.0	12.5	13.0	5.0
パソコン	0	6.1	6.2	22.1	20.8	23.9	16.7	13.0	17.0
スマートフォン	33.3	90.9	86.2	68.6	59.7	29.6	20.8	8.7	55.4
人に聞く	33.3	0	0	0	0	4.2	6.3	4.3	2.0
その他	0	0	1.5	2.3	0	1.4	6.3	0	1.7
無回答	0	3.0	0	2.3	1.4	9.9	0	4.3	3.0

第4章 西宮市子供読書活動推進計画（平成31年度～平成35年度）

1 国の取り組み

第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（文部科学省 平成30年4月）では、高校生の不読率の高さが注目されています。その要因として、中学生までに読書習慣が形成されていないことと、高校生になって読書の関心度合いが低くなり本から遠ざかることが挙げられており、改善のために家庭・地域・学校等において次の取り組みが必要とされています。

- (1) 子供が発達段階に応じて読書習慣を身に付けることができるよう、乳幼児期からの読書活動が重要であることを踏まえつつ、発達段階ごとの特徴を考慮した効果的な取り組みの推進。
- (2) 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取り組みの充実。

2 本市の課題

本市では、関係機関の連携や市民との協働により、様々な読書活動に取り組み、読書が好きな子供が増えてきましたが、本市の小・中学生は全国に比べて1日当たりの不読率が高く、特に中学生の割合が高くなっています。

また、全国的な読書離れの傾向やスマートフォンの普及など、時代背景や子供を取巻く生活環境の変化を考慮する必要があり、関係機関が一層連携を深めて、子供が本に親しみ、読書する機会を増やす取り組みが求められています。

そして、小学生までに読書を習慣化し、中学生以降の読書活動につなげることのできる環境づくりなどを、子供の発達段階に応じて継続的に展開していくことが必要であると考えます。

3 基本方針

将来の予測が難しい時代を生きる子供にとって、あふれる情報（言葉・文字）を読み取り、その意味を理解した上で自分の考えを持ち、他者に伝える力が今後ますます必要になると考えられます。読書には、子供が深く思考を巡らせ、他者とのコミュニケーションを支える言語能力を育み、情緒的な成長を促す効果が期待できます。

本市では、前述の「1 国の取り組み」の方向性や「2 本市の課題」を踏まえて、引き続き以下の3点を基本方針とします。読書環境の整備と大人への働きかけを行うとともに、子供時代の心に残る本との出会いが、生涯にわたって読書を楽しみ、学び続けられる生涯学習につながるよう、子供の発達段階に応じた切れ目のない読書機会の提供と読書力の育成に努めていきます。

(1) 子供の自主性を尊重します。

子供が、様々な読書体験を通して、その中から自分の楽しみや喜びを見つけられるようにしていきます。

(2) 大人が手本となるよう、理解と協力を求めます。

大人自身が読書に親しむ姿を見せることの大切さを保護者に訴えていきます。そのために、家庭において保護者が、地域社会においては学校や地域の大人が読書活動の推進に関わっていくことが求められます。

(3) 関係機関は読書環境の整備を図ります。

市立図書館をはじめ保育所や幼稚園、子育て総合センター、児童館・児童センター、学校などで、子供が本に出会い親しむ機会を多く提供していきます。また、地域団体やボランティアグループなどに、読書を奨励する取り組みと協力を求めていきます。

4 計画の期間

平成 31 年度（2019 年度）から平成 35 年度（2023 年度）までの 5 年間

5 計画の対象

おおむね 18 歳以下の子供

6 具体的施策

(1) 家庭における取り組み

子供の読書習慣は日常の生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われなければなりません。そのため、子供にとって身近な存在である保護者が配慮・率先して、読み聞かせをしたり、子供と一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりして読書の楽しさを伝え、子供の読書機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たしていくよう啓発していきます。

また、家庭における読書は、子供が本の世界に入り込み、深く思いを巡らせる時間となるだけでなく、一冊の本を媒介にして家族がふれあい、語り合う時間を持つことで、絆を深める手段として重要なものであることを広めていきます。

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
1	乳幼児	蔵書の充実・ブックリストの配布	各施設が、蔵書の充実に努めるとともに、「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)や「絵本のゆりかご」、「絵本のポケット」などのブックリストを作成し、絵本の紹介を行う。	継続	保育所等 幼稚園 子育て総合センター 児童館・児童センター 市立図書館

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
2	乳 幼 児	絵本の貸出	各施設が絵本の貸出を行い、家庭で本を通じて親子がふれあい、読書を楽しむ時間を持つことができるようにする。	継続	保育所等 幼稚園 子育て総合 センター 児童館・ 児童センター 市立図書館
3		子育て総合センターにおける絵本の読み聞かせ	毎週木曜日に読み聞かせの会を実施する。また、親子サロン※ ¹⁴ スタッフが、個々の親子の状況に合わせて1対1で読み聞かせることの大切さを啓発し、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行う。	継続	子育て総合 センター
4		ブックスタート 関連事業	乳児相談でのボランティアによる読み聞かせの実施や、4か月児健康診査時にブックリスト「絵本のゆりかご」の配布による絵本の紹介を行い、家庭で親子がふれあい絵本に親しむきっかけとする。また、一緒に来た兄弟姉妹に対しても読書活動を促す機会とする。	継続	市立図書館 地域保健課
5		体験保育	親子が保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通して、家庭でも絵本に親しめるようにする。	継続	保育所
6		広報紙の発行	保育所だよりや幼稚園だより、市立図書館の児童向け広報紙「しゃぼん玉」など、各施設で広報紙やちらしを発行し、情報発信に努める。	継続	保育所等 幼稚園 子育て総合 センター 児童館・ 児童センター 市立図書館
7		家庭 など	保護者になる人への絵本の読み聞かせ	保護者になる人に対して、妊娠期から絵本の読み聞かせを行う。親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に適した絵本の紹介、読み聞かせの実演などを通して、子供とのコミュニケーションの大切さなどを伝える。	継続
8	読書習慣のない家庭の読書活動		本に興味がない、又は、読書に時間を割けない家庭への働きかけや読書の習慣化の方策などについて検討する。	発展	全部署
9	広報活動		家庭教育ニュースレター「家族の絆」などで本を紹介する。また、その他の広報媒体や広報内容を検討し、積極的に本の紹介を行う。	継続	全部署

(2) 学校園・保育所等における取り組み

幼稚園及び保育所等では、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等に基づいて、教育課程・保育時間の中で読書活動を推進しています。引き続き、各施設の蔵書の充実や読み聞かせなどの読書活動を展開し、子供が多くの本に親しむ機会の確保に努めます。

小学校及び中学校では、改訂された学習指導要領において、読解力を支える語彙力の強化として語彙指導が明確に位置付けられ、具体的方策の一つとして読書活動の充実が挙げられています。これは、平成27年(2015年)のPISA(OECD^{※15}生徒の学習到達度調査)の結果分析から指摘される「読解力」の課題について、今後の指導の改善・充実をまとめた「読解力向上のための対応策」(国立教育政策研究所)を踏まえています。読書することによって、知識や情報を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えが広がったりすることを見童・生徒に実感させることができるよう、発達段階を追って、どのようなものをどのように読むのかという読書の質を意識しながら指導を展開していきます。

これらの指導にあたり、学校図書館の持つ、「読書センター」「学習センター」「情報センター」という機能を活用するとともに、児童・生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実が図られるよう、学校図書館運営を行っていきます。具体的には、児童・生徒が、読書に親しみ、幅広く、進んで読書に取り組み、生涯にわたる読書活動の基盤が形成できるよう、常時開館や休み時間等でのレファレンス^{※16}、専門的見地からの蔵書の充実、各教科における学校図書館利活用のための授業研究、図書資料を活用した授業や行事の実施等を行っていきます。さらに、これらをより実効性のあるものとするために、校内においては、図書館教育担当者及び学校司書や学校図書館ボランティアとの連携の強化、市立図書館の司書による専門的助言等の連携を強化していきます。

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
1	乳幼児	学校園・保育所等における読み聞かせ	教諭、保育士、保護者、ボランティア等が教室・保育室などで読み聞かせを行う。	継続	保育所等 幼稚園 小中学校 特別支援学校 市立図書館
2		「読んでごらんおもしろいよ」の配布	ブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」を学校と市立図書館が連携して作成し、幼児及び児童・生徒の読書の手引きとして活用する。	継続	幼稚園 小中学校 特別支援学校 市立図書館
3	小中学生	学習指導要領に基づいた読書教育	各校の学校図書館運営計画を作成し、「いずみ」に掲載して取り組み内容の情報共有を図る。	継続	小中学校 特別支援学校 学校教育課

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
4	小 中 学 生 高校生	外国語教育	小学校での英語教育が教科化されることから、英語で書かれた図書の整備に努める。	発展	小中学校 特別支援学校 学校教育課
5		学校図書館機能の充実	学校図書館教育担当者（司書教諭等）を中心に、関係者が連携して、学校図書館機能の充実に努める。 また、「西宮市小学校図書館の学習基本図書」や市立図書館作成のブックリストなどを参考に図書の充実に努める。	継続	小中学校 特別支援学校 学校教育課 市立図書館
6		相互貸借	各校で西宮市学校図書システム（LB@SCHOOL）によるネットワークを活用し、相互貸借することで各校蔵書の有効活用を図る。 また、市立図書館と連携し、テーマに沿ったセット本の公用貸出の利用を進める。	発展	小中学校 特別支援学校 学校教育課 市立図書館
7		読書感想文コンクール等の開催	読書感想文コンクール・読書感想画コンクール・読書会を継続し、本を読むことで養われる感性や、感動を人と共有する機会を提供する。	継続	小中学校 特別支援学校 学校教育課
8		「読書の達人認定証」の発行	児童の読書意欲を高めるため、読書冊数に応じて認定証を発行する。	継続	小学校
9		特別支援教育に係る図書の充実	学校園において、障害などの理解・啓発に関する図書を充実させる。	継続	小中学校 特別支援学校 学校教育課 特別支援教育課
10		障害に応じた設備や資料の充実	障害の状態に応じた合理的配慮が行えるよう設備や読書環境を整えるとともに、障害のある子供に配慮された図書の充実に努める。 また、西宮養護学校の特別支援教育のセンター的機能を充実させ、点字資料やLLブック ^{*17} など様々な障害に応じた資料を収集し活用方法を発信する。	発展	小中学校 特別支援学校 特別支援教育課
11		多様な技法を用いた読書への誘い	市立図書館と連携して、ブックトーク、アニメーション、読書クイズ ^{*18} など、読書の楽しみや喜びを実感できる多様な技法を授業に取り入れ、読書意欲を高める。	発展	小中学校 特別支援学校 市立高等学校 学校教育課 市立図書館

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
12	高校生	学校図書館の充実	市立図書館と連携して、学校図書館資料の充実を図る。	発展	市立高等学校 学校教育課 市立図書館
13	その他	チャレンジ研修 専門課題研修	幼児教育、小学校関係者を対象とした読書活動に係る研修会を開催する。	継続	子育て総合 センター 教育研修課

(3) 地域（市立図書館等）における取り組み

本市では、市立図書館等を地域における子供の読書活動の拠点として、子供が気軽に日常生活の中で本にふれられる読書環境づくりに取り組んできました。

市立図書館は、子供にとって読書の楽しみを知ることができる場所であり、保護者にとっては、子供に読ませたい本を選んだり、相談できたりする場所です。さらに広く市民にとっては、読み聞かせなどの事業やボランティア活動に参加できる場所であり、子育て支援の側面を持った市民の生涯学習を支える施設です。

今後も、市立図書館が地域における子供の読書活動の推進において中心的な役割を担い、子供の読書への興味・関心を引き出し、読書の習慣化を促すため、子供の発達段階に応じた取り組みを行います。

さらに、生涯学習の理念の下、社会教育と学校教育の連携強化を図りながら、学校図書館への支援を行うとともに、放課後や休日に子供たちが集まる児童館・児童センターなどにおいても、地域のボランティアなどの協力を得ながら、子供が生活のあらゆる場面で読書に親しむことができる取り組みを充実させます。

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
1	乳幼児	市立図書館等における絵本の読み聞かせ	市立図書館、児童館等で読み聞かせなどを行い、地域で絵本に親しむ機会を作る。	継続	市立図書館 児童館・ 児童センター
2		「読んでごらんおもしろいよ」の配布（再掲）	ブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」を学校と市立図書館が連携して作成し、幼児及び児童・生徒の読書の手引きとして活用する。	継続	市立図書館 幼稚園 小中学校 特別支援学校
3	小中学生	課題解決のための支援	調べる学習講座や利用講座の開催、資料の充実により、課題解決の支援を行う。	継続	市立図書館

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体	
4	小 中 学 生	読書履歴の作成	小学生以下の子供も、市立図書館ホームページ内に読書履歴を記録できるシステムを整備する。	発展	市立図書館	
5		外国語資料などの充実	外国語で書かれた絵本や多読資料 ^{*19} の収集に努める。 また、来日した外国人が日本語を学ぶための資料の収集にも努める。	発展	市立図書館	
6		団体貸出	団体利用を促進して本の貸出を行い、子育て関連機関などの読書環境を充実させる。	継続	市立図書館	
7		放課後等デイサービスにおける読み聞かせ	放課後等デイサービス ^{*20} において、市立図書館司書やボランティアによる読み聞かせを行う。	継続	市立図書館	
8		適応指導教室との連携	市立図書館司書が適応指導教室 ^{*21} を訪問して、本の紹介等を行う。また、図書館見学や本の修理などの活動を通して、本に親しむ機会を提供する。	継続	市立図書館 地域・ 学校支援課	
9		障害のある子供への読書活動支援	点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集に努める。 また、西宮養護学校などで、市立図書館司書が読み聞かせを行う。	継続	市立図書館 小中学校 特別支援学校 特別支援教育課	
10		公用貸出	学校への貸出用に、調べ学習などのテーマに沿った蔵書を充実させ、授業を支援する。 また、配送車の配備など、効率的な活用に向けた研究を行う。	発展	市立図書館 小中学校 特別支援学校 学校教育課	
11		学校図書館の支援	学校図書館に市立図書館司書を派遣して、蔵書・配架・除籍などの助言やブックトークなどを行い、学校図書館運営を支援する。	発展	市立図書館 小中学校 特別支援学校 市立高等学校 学校教育課	
12		高校生	多様な技法を用いた読書への誘い	ブックトークやビブリオバトルなど、読書の楽しみを実感できる多様な技法を図書館行事などに取り入れ、読書への興味を引出す。 また、絵本や文芸作品などの創作活動についての啓発を行う。	発展	市立図書館 市立高等学校

	対象	事業名	事業内容	区分	関係部局・団体
13	その他	子供読書活動推進のための拠点づくり	本市の子供読書活動の拠点として、市立図書館の児童書や児童コーナーの充実を図る。また、地域での子供読書活動の拠点の在り方についても研究する。	発展	市立図書館
14		社会教育関係団体などとの連携	地域の社会教育関係団体（PTA・青少年愛護協議会・子ども会など）などと連携して、読書活動につながる行事を開催する。	発展	市立図書館
15		職員の研修	市立図書館司書などの資質向上のための研修の実施や情報共有に努める。	継続	市立図書館
16		ボランティアの育成	市立図書館及び学校図書館のボランティアを育成するために、研修や活動環境の整備を行う。	継続	市立図書館 小中学校 特別支援学校 学校教育課

＜参考とする指標＞

- (1) 「文部科学省全国学力・学習状況調査」において、「読書が好きですか」の質問に「当てはまる・どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

(単位：%)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
小学6年生	70.2	71.2	71.1	75.0
中学3年生	55.9	60.3	61.1	70.0
【設定理由】H29年度の全国平均（小学校74.3 中学校69.9）を目安に設定				

- (2) 市立図書館の児童書の貸出状況

(単位：冊)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
児童1人当たりの貸出冊数	20.36	19.66	21.23	22.00
【設定理由】近隣中核市と比較しても高い水準にある現状（20冊以上）を維持 児童書の貸出冊数/0～14歳人口				

- (3) 市立図書館から学校への公用貸出冊数

(単位：冊)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
貸 出 冊 数	2,390	4,353	4,182	4,300
【設定理由】小学校が年3回、中学校が年1回利用（1回30冊）				

- (4) 市立図書館から市内の子育て関連機関・団体への貸出冊数（児童書のみ）

(単位：冊)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
貸 出 冊 数	7,022	8,574	9,195	10,000
【設定理由】H29年度の水準を維持				

- (5) 図書館外のおはなし会（図書館おはなしボランティア派遣）

(単位：回)

年 度	H27	H28	H29	H35 目標
開 催 回 数	92	117	111	115
【設定理由】H29年度の水準を維持				

第5章 推 進 体 制

1 関係部署間の連携

子供の読書活動に関連した部局の連携を図るために、社会教育部長を議長、学校教育部長を副議長とした庁内委員会「西宮市子供読書活動推進会議」を開催します。メンバーは、関係課の課長級職員とし、事務局は、北口図書館に置きます。

また、それぞれの事業において関連課が連携・協力して、幅広い活動を目指します。

※「西宮市子供読書活動推進会議」のメンバー

教育委員会：教育総務課、社会教育課、中央図書館、北口図書館、学校教育課、
教育研修課、特別支援教育課

市長事務部局：保育所事業課、子育て総合センター、地域保健課

2 推進状況の把握と評価

この計画を実行性のあるものとするために、上記「西宮市子供読書活動推進会議」において進捗状況を確認・評価するとともに、必要に応じて施策や事業の再検討・調整を行います。各課の読書活動の推進状況については、市のホームページにおいて報告します。

3 広報の充実

各課の広報紙やホームページなどを活用して子供の読書活動を促し、市民への情報提供に努めます。

4 事業費について

前計画に引き続き、推進計画を充実して実施するために、事業費の確保に努めます。

資 料

(資料1) 第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」
(文部科学省)

(資料2) 平成29年度子ども読書活動実績報告書

(資料3) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)〔抜粋〕

(資料4) 読書に関する保護者アンケート

第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」の概要

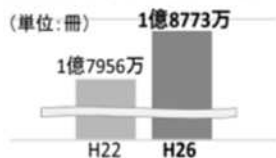
趣 旨

2001年(平成13年)に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、おおむね5年(2018~2022年度)にわたる子供の読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにする。

第三次基本計画期間における子供の読書活動に関する状況等

主な現状

<児童用図書の出冊数の増加>



<全校一斉読書活動を行う学校の割合の増加>

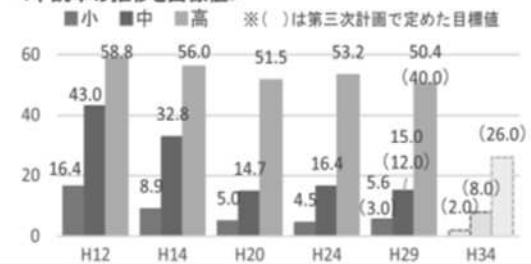
	H24	H28
小	96.4%	97.1%
中	88.2%	88.5%
高	40.8%	42.7%

主な課題

- 小中学生の不読率※は、中長期的には改善傾向にあるが、高校生の不読率は依然として高い
- いずれの世代においても第三次計画で目標とした進捗での改善は図られていない

※不読率：1か月に一冊も本を読まない子供の割合

<不読率の推移と目標値>



取り巻く情勢の変化

学校図書館法の改正(平成26年成立) 専ら学校図書館の職務に従事する職員としての学校司書の法制化。学校司書の研修等の実施について規定。
学習指導要領の改訂(平成29,30年公示) 総則において学校図書館の活用や読書活動の充実を規定。

情報化社会の進展

スマートフォンの普及やコミュニケーションツールの多様化。

分 析

- ① 中学生までの読書習慣の形成が不十分
- ② 高校生になり読書の関心度合いの低下
- ③ スマートフォンの普及等による子供の読書環境への影響の可能性

各世代の施策に反映

計画改正の主なポイント

- ① 読書習慣の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進
乳幼児期：絵本や物語を読んでもらい、興味を示すようになる 等
小学生期：多くの本を読んだり読書の幅を広げたりする読書 等
中学生期：内容に共感したり将来を考えたりする読書 等
高校生期：知的興味に応じた幅広い読書 等
- ② 友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実
読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦(ビブリオバトル)等の活動
- ③ 情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析
スマートフォンの利用と読書の関係 等

推進体制

子供の読書環境を充実させるため、国・都道府県・市町村は、学校・図書館・民間団体・民間企業等、様々な機関と連携し、各種取組を充実・促進

市町村推進計画策定率
◆第三次基本計画で定めた目標
市：100% 町村：70%
◆平成28年度実績
市：88.6% 町村：63.6%

※H29末目標
※第四次計画でも引き続き達成を目指す

市 町 村：計画未策定→策定、策定済→見直し、地域での幅広い関係者との連携 等

都道府県：高校生の不読率改善に関する取組実施(高校を所管する立場から)、市町村への蔵書貸出、計画未策定市町村への助言 等

国：情報環境と読書の関連調査・分析、地方公共団体への財政措置、国民の関心と理解の増進(子ども読書の日、優良事例の表彰等) 等

第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」 推進のための主な方策

ポイント： ①発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成
②友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高める

家庭

- ◆家庭での読書の習慣付けの重要性の理解促進
- ◆家庭での読書活動への支援（次のような活動の推進）
 - ・読み聞かせ体験とともに乳幼児と保護者に絵本を手渡すブックスタート
 - ・子供を中心に家族で同じ本を読み、絆（きずな）の一層の深まりを目指す家読（うちどく） 等

学校等

【幼稚園・保育所等】

- ◆幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づき、絵本や物語に親しむ活動の充実と環境の整備

【小学校、中学校、高等学校等】

- ◆学習指導要領を踏まえた読書活動の推進
 - ・児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の充実（学校図書館の計画的な利活用）
 - ・障害のある子供の読書活動の促進
- ◆読書習慣の形成、読書の機会の確保
 - 全校一斉の読書活動、卒業までの読書目標の設定、子供による図書紹介 等
- ◆学校図書館の整備・充実
 - ・学校図書館図書整備等5か年計画の推進
 - ・学校図書館図書標準の達成
 - ・情報化の推進
 - ・司書教諭・学校司書等の人的配置促進

地域

- ◆図書館未設置市町村における設置
設置率(H27)：市98.4%、町61.5%、村26.2%
- ◆図書館資料、施設等の整備・充実
 - 移動図書館の活用、情報化の推進、児童室等の整備、障害のある子供のための諸条件の整備・充実 等
- ◆図書館における子供や保護者を対象とした取組の企画・実施
 - ・読み聞かせ会等の企画・実施
 - ・インターネット等を活用した情報提供
- ◆司書・司書補の適切な配置・研修の充実
- ◆学校図書館やボランティア等との連携・協力
 - ・学校図書館や地域の関係機関との連携
 - ・ボランティア活動の促進
 - ・地域学校協働活動における読書活動の推進

子供の読書への関心を高める取組

- ◆友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組
 - 読書会、図書委員、「子ども司書」、ブックトーク、書評合戦（ビブリオバトル） 等

民間団体の活動への支援

- ◆民間団体やボランティアの取組の周知
- ◆活動への助成（子どもゆめ基金）

普及啓発活動

- ◆「子ども読書の日」(4月23日)
- ◆「文字・活字文化の日」(10月27日)
- ◆優れた取組の奨励(地方自治体・学校・図書館・民間団体・個人を表彰 等)

平成29年度子ども読書活動実績報告書

1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等		
社会教育課	絵本の読み聞かせ	①4月19日(水)	中央保健福祉センター	妊娠中期の初妊婦	絵本を通して子供と向き合い、子供の心を育んでもらうとともに、子育ての楽しさを知ってもらう。	① 20人	出産を控え、絵本の読み聞かせに関心はあるが、どのような本を選んだらよいのか、どのように読み聞かせをすればよいのか等、具体的なことを知るきっかけとなつていことから、今後も実施する。		
		②7月19日(水)				② 14人			
		③10月18日(水)				③ 17人			
		④1月24日(水)				④ 17人			
		①6月15日(木)	鳴尾保健福祉センター			① 18人			
		②9月21日(木)				② 20人			
③12月19日(火)	北口保健福祉センター	③ 18人							
④3月15日(木)		④ 23人							
①4月17日(月)		塩瀬公民館	① 20人						
②6月19日(月)			② 29人						
③8月28日(月)	③ 12人								
④10月30日(月)	④ 27人								
⑤12月18日(月)	⑤ 28人								
⑥2月26日(月)	⑥ 27人								
地域保健課	絵本の読み聞かせ	①6月14日(水)	山口保健福祉センター	乳児相談実施日(年11回)	ブックスタート関連事業として、乳児期から親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、親子のふれあいと絵本を通して心豊かに育つこと。	① 4人	読み聞かせの体験や絵本の紹介等を行うことで、当日だけでなく家庭での絵本と触れ合うきっかけにもなつていと感じる。また、対象児だけでなく、一緒に来ている兄弟児への読み聞かせにもなつており、乳児だけでなく幼児が親子で触れ合うきっかけになつていと感じる。		
		②12月13日(水)				② 2人			
保育所事業課	保育園こども図書館 スマイル体験	①9月21日(木)	中央保健福祉センター	在宅親子、在園親子	保育所で絵本の貸出しを行い、子供の年齢や興味にあった絵本を提供することで、子供の読書活動を推進する。	① 0人	平成29年度は11園で実施し、毎年継続して行っている。在宅の親子でも利用でき、家庭での絵本とおした触れ合いの機会を提供している。		
		②3月22日(木)				② 10人			
		週1回	民間保育所			在宅親子		保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通して家庭でも絵本に親しめるようにする。	—
		年2回							公立保育所
子育て総合センター	チャレンジ研修 絵本と読み聞かせ ワークショップ	10月28日(土)	子育て総合センター	保育所、幼稚園・小学校教諭、乳幼児期の教育に携わる職員	絵本を好きな子供が一人でも多く育つことを願い、子どもの心を育てる絵本の読み聞かせなどのスキルを高めていく。	—	絵本が好きな子供が育つよう、読書へのアニメーションの役割や手法を学び、実際にワークショップ活動をすることで、参加者のスキルアップにつながつた。		
		年2回				公立保育所			
		12月7日(木)	子育て総合センター			就学前の子供、保護者		親子そろって、人形劇の楽しさに触れるとともに親子での共有体験の機会とする。	32人
		毎週木曜日							子育て総合センター 付属あおぞら幼稚園
絵本室の開放	月～金 14:00～16:00 土日、幼稚園の休業日 10:00～16:00	毎週木曜日	子育て総合センター 付属あおぞら幼稚園	就学前の子供、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しむを持つ。	1,425人	図書ボランティアやぶぶんブックサークル等の絵本の読み聞かせにより、保護者が読み聞かせの参考にしたたり、親子で絵本に触れる機会となつた。		
								就学前の子供、保護者	就学前の子供、保護者

2 学校における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
学校園等	西宮市小・中学生 読書感想文コンクー ル	夏休み前後～9月末	各小中学校	児童、生徒	本に親しみ読書の習慣化を図る。 また読書の感動を文章に表現す ることを通じて豊かな人間性や考 える力、自分の考えを表現する力 を育む。	—	小学校では各学年1点の作品を、中学校では校内の読書 感想文コンクールにおいて代表を各校4点まで選び、市の読 書感想文コンクールに出品した。児童生徒が本に親しみ機 会となるだけでなく、読書の感動を自分なりの文章で表現す ることを通じて、表現力や思考力、豊かな人間性を養うこと にもつながった。
	中学生の読書会 図書委員の集い	8月22日(火)	上甲子園中学校	生徒、保護者	同じ一冊の本を読んだら、感想等を 意見交流し、読書の楽しさを広げ るとともに、豊かな感性を培う。	80人	「夜間中学へようこそ」(山本悦子作／岩崎書店)について 意見を交流した。同年代のもの見方や考え方を知るだけ でなく、保護者との考え方の違いに気付くなど、自分自身を 見つめ直すよい機会となった。図書委員の集いでは、日頃 のよりよい図書館作りを目指した取組みを交流することが互 いの刺激となり、今後の委員会活動の充実につながる会と なった。
	小学生のふれあい 読書会	10月25日(水)、11月 1日(水)、11月8日 (水)	各小学校(12校)	児童、保護者	同じ本を読んだら感想等を意見交 流し、読書の楽しさを広げるとも に、豊かな感性を培う。	396人 (児童223 人、保護者 173人)	「つばさ」(大島里恵作／文研出版)を題材として取り組ん だ。まず、各校で読書会を行い、深く読み合うことや語り合う ことを通じて思考力、想像力を広げる場を持った。次に、各 校代表が市内12ヶ所で行われる読書会に参加し、保護者 や他校の児童と生き方や考え方について交流した。自分の 考えを表現し合う場を持つことが読書活動の幅を広げ、読 書意欲の向上につながった。
	読書感想画 コンクール	冬休み前後	各小中特別支援学 校	児童、生徒	読書による感動を絵画表現するこ とにより、読書力、表現力を養い、 読書の活動をすすめるとともに、 豊かな感性を培う。	—	読書による感動を絵で表現することが、児童生徒の読書力 や表現力を養うことはもちろん、さらなる意欲向上にもつな がった。
	学校図書館 指導員配置	通年	各小中特別支援学 校	児童、生徒、教職員	児童生徒の理科・科学関係図書 の活用促進に向けて、各校の司 書教諭(学校図書館教育担当 者)と学校図書館指導員等の連 携を支援することにより、児童生 徒の読書環境の充実を図る。	40人 (配置)	学校図書館の管理運営に関する補助として、環境整備や データベース化の推進等、学校図書館の充実を図る活動を 行うとともに、児童生徒の調べ学習等の支援や学習に活用 できる図書情報の提供を行った。子供と本をつなぐ上で、欠 かせない存在となっている。
	教科指導等相談事 業(学校図書館活動 等)	通年	各小中特別支援学 校、各幼稚園	全園児、児童、生徒、 教職員	読書活動を広げ、読書体験を深 める。	22校園	幼稚園 小学校低学年を中心に、講師による読み聞かせな どを実施し、本の楽しさを伝える場となった。また保護者を対 象にした講座を実施するなど、家庭での読書指導や読書課 境作りのポイントにもなった。
	読書の達人認定	通年	各小学校	児童	自ら意欲をもって読書し、読書習 慣の日常化を図る。	47,751枚 配付	「読書の達人認定証」を受け取った児童の喜びの声や意欲 の高まりが学校から伝わってきている。今後も更なる啓発を 行い、児童の読書活動定着を促したい。
	各学校園でのイベン ト支援	通年	各小中特別支援学 校、各幼稚園	園児、児童、生徒	各校独自の読書活動に係るイベ ントを支える担当職員や学校図書 館ボランティア等を支援する。	81校園	読書活動を支援するイベントは、学校図書館ボランティア等 を中心に、各学校園ごとに工夫した取組みが行われてい る。今後も、学校図書館教育担当者研修会や学校図書館 指導員学習会、小・中教研学校図書館教育研究会において 交流しなから、各校の取組みを支援したい。

3 図書館における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
中央図書館	みんなでのたのしみ！おはなしいろいろはるのまき～	4月16日(日)	中央図書館	概ね5歳～、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	21人	子供だけで聞くのではなく、親子で一緒に楽しむおはなし会のため、通常のおはなし会とは違っただけ楽しめがある。絵本の読み聞かせだけでなく、手遊び指遊びを交えたり、少し年齢が上の子供たちを対象にするストーリーテリングなど、いつもより特別なと感じてもらえるプログラム構成になっている。
	「読んでごらんおもしろいよ」図書展示	7月7日(金)～7月17日(月・祝)	中央図書館	幼児、小中学生、保護者	図書目録「読んでごらんおもしろいよ」の本の周知・貸出促進。夏休みの読書活動の参考とする。	—	図書目録のみで本を選択するのではなく、実際に本を手に取り、装丁や本の厚さ、文字量なども確認することで、夏休みの読書の楽しみや期待を膨らませることができた。また、課題図書も同時に展示しており、同時にいろいろな本を読み比べてもらえる機会にもなっている。
	第15回みんなでおはなしストーリーテリング	7月28日(金)	中央図書館	概ね5歳～小学生	親子でストーリーテリングを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	20人	ストーリーテリングは本を見ずに、おはなしを聞いて物語の世界を想像してもらうため、小さな子供には少し難しかったり屈であったりする。短いおはなしを多くしたり、場面転換の多いおはなしを取り入れるなど工夫して実施する必要がある。
	第5回図書館を使った調べる学習講座	講座 ①6月4日(日)、②6月18日(日)、③まとめ8月17日(木) 相談会 6月25日(日)、7月9日(日)、7月25日(火)、8月4日(金)	中央図書館	小学3年生～中学生	調べることを目的にした図書館利用を促進し、図書を使った調べ方、まとめ方を学ぶ。	25人	応募者は32名と前回に比べて増えた。この講座が年々浸透してきている手ごたえを感じた。とくに小学3年の応募が13名と多く、「調べてまとめる」という單元がこの学年から始まることから、関心の高さがうかがえた。今後多くの人に、数多ある情報の中から必要なものだけを選び理解しまとめる力や図書館の活用する方法をこの講座で学んでもらいたい。
	きみも一日図書館員！お仕事体験	7月27日(木)	中央図書館	小学3～6年生	小学生向けの図書館の仕事体験行事を行い、この体験を通して図書館に親しみ、活用の仕方についても学んでもらう。	16人	応募者は3・4年からのが多く、図書館への関心の強さを実感した。窓口業務以外にも様々な仕事もあるということを知ってもらえるよい機会なので、これからも継続して行いたい。
	夏のスペシャルおはなし会	8月23日(水)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	37人	夏休みということもあって少しくわいお話しなども取り入れ、季節感を出している。この行事は職員が開催することでおはなし会の構成や展開について研究する良い機会となっている。
	みんなでのたのしみ！おはなしいろいろはるのまき～	10月15日(日)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	28人	短い話から、聞きごたえのある少し長めの話まで、多彩な内容だった。この行事はおはなしボランティアの活動の場であり、親子で楽しめるという利点もあるので、これからも継続していきたい。
	クリスマスおはなし会	12月20日(水)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	39人	普段のおはなし会とは違っ特別感を意識して実施。会場にクリスマスマスの装飾を施し、クリスマスに限定したおはなしや手遊びを行った。
	どんな絵本が入っているかな？ハッピーバッグ	1月10日(水)～21日(日)	中央図書館	0～2歳児(赤やん向け)3～5歳児(幼児向け)	「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」の周知。これまでに取ったことがなかった本に出会う機会とする。	40人	職員が絵本を選び、それを福袋の形にして貸出した。日頃は手に取ることのない作家やジャンルにも興味を示してもらえるよい機会になっている。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
中央図書館	第16回みんなで楽しむストーリーテリング	3月28日(火)	中央図書館	概ね5歳～小学生	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	33人	ストーリーテリングという耳から聞いておはなしを想像してもらう会なので、おはなしを聞く雰囲気や空間づくりを行った。演者・参加者もおはなしの世界にしっかり入り込んでもらえるよう、おはなしボランティアと連携して実施する必要がある。
	おはなし会	毎週水曜日、毎月第3日曜日、第3金曜日	中央図書館	0歳～小学生	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	349人	職員とおはなしボランティアで開催している。参加者の低年齢化が進んでいるが、30年継続してきた中で、良い思い出となっているなどの声もある。おはなしは子供の空想力を育み、将来の読書につながるかと考え、継続している。
北部図書館	絵本カバードレしおくり	4月23日(日)	北部図書館	幼児～小学生	テーマに関連する身近な話題の中から読書への関心を深めてもらう。図書館利用の促進につなげる。	22人	職員が実施。簡単な工作のため、低年齢の子供の参加が目立つ。事前申込みなしで行ったが、参加者が多く、図書館の利用促進につながった。
	つくるう！あそぼう！かえるびよん！！	5月28日(日)	北部図書館	幼児～小学生	大型絵本の読み聞かせや、児童書の紹介・本を使った工作をきっかけに読書への関心を深めてもらう。	20人	職員が実施。工作のため参考にした本の紹介や読み聞かせは、低年齢の子供にも配慮した内容だったので、普段は来館しない子供にも参加してもらえた。
	みやたんおはなし会	7月27日(木)	北部図書館前ロビー	幼児～小学校低学年	みやたんを通して郷土への関心を引き出し、読書活動につなげる。	18人	夏の定番事業として定着し、図書館利用の促進につながっている。
	ブックトークと理科実験「やってみよう！静電気のふしぎ」	8月2日(水)	塩瀬公民館	小学生、保護者	夏休みの自由研究の参考となる主題図書の紹介につなげる。	14人	実験を楽しみながら、調べて、試してみるという内容に好奇心をもった子供が多く、夏休みの自由研究の参考になった。
	こわ～い話のおはなし会	8月22日(火)	塩瀬公民館	小学生	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	11人	怪談物のストーリーテリング等を図書館職員とボランティアが行った。夏休みの定番事業として定着しており、普段は来館できない小学生の参加があった。
	ハッピークリスマス	12月16日(土)	塩瀬児童センター	幼児～小学生	クリスマスに合わせた遊びとおはなし会を組み合わせ、読書や図書館に親しんでもらう。	48人	塩瀬児童センターと連携実施。児童センターのクリスマス会の冒頭で職員とボランティアが読み聞かせ等を行った。行事と読書をうまくつなげることができた。
	わごもでギターをつくらう	1月14日(日)	北部図書館	幼児～小学生	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	15人	子供に好評な楽器をテーマに、読み聞かせや本の展示・紹介、輪ゴムを使ってギターの工作を行った。
	きょうりゅうカレンダーをつくらう！	3月25日(日)	北部図書館	幼児～小学生	テーマに関連する本の紹介と工作を組み合わせ、読書や図書館に親しんでもらう。	30人	「科学道100冊委員会」推薦の資料の展示・貸出と共に関連イベントとして行った。科学絵本などを求める新たな要望に応えることができた。
	おはなし会	毎週日曜日、毎月第2木曜	北部図書館	0歳～小学生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	363人	おはなしは、子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながるかと考え、継続している。参加人数の増加を目指したい。
	ぼぼデイでのおはなし会	毎月1回	ぼぼデイ(名塩駅前・東山台)	小学生～高校生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しむを持ってもらう。	174人	放課後等デイサービスで実施。職員・ボランティアが工夫を重ねて読み聞かせを行い、子供たちに楽しんでもらえるおはなし会となっている。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	お花見おはなし会	4月7日(金)	西開公園	幼児～小学生	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書に親しんでもらう。	24人	開放的な公園で、大型絵本などの読み聞かせを楽しみ、平素とは違った読書環境を提供した。図書館から公園までの移動の際の安全確保に留意する必要がある。
	きのこの紙しおりをつくろう!	4月22日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	子ども読書の日にちなみ、工作を通して読書や図書館に親しんでもらう。	18人	図書館利用者がボランティア講師として参加。紙しおりを作成し、読み聞かせ等を行った。
	ほんよみ屋さん	4月23日(日)	鳴尾図書館	幼児～小学生	子ども読書の日にちなみ、読み聞かせを通して読書や図書館に親しんでもらう。	24人	「子ども読書の日」の行事としてボランティアが担当。保護者からは地域から見守られていることを実感できたとの感想があった。図鑑や、物語などおはなし会では読まれない本を読んでもらえる機会を提供できた。
	出張なるおとしよかん	5月13日(土)、14日(日)	ららぽーと甲子園	幼児～小学生	まちライブラリーの一環として図書館をPRする。	60人	職員とボランティアが担当。にぎやかで読み聞かせに集中するのが難しい場所であったが、多くの人が足を止め、図書館の周知につながった。
	フラワーフェスティバル	5月20日(土)	六湛寺公園	幼児～	フラワーフェスティバル参加者に図書館をPRする。	72人	職員とボランティアが担当。「花と緑の課」との連携行事としてテントを借りて読み聞かせを実施。図書館の周知につながるとともに、読み聞かせの楽しさを知ってもらった機会となっている。
	マレットファン たいの子供たちと絵本	6月10日(土)	鳴尾図書館	小学生、保護者	海外の国と絵本に親しむ。	30人	タイで活動するNPOの職員が同じ絵本をタイ語と日本語で読むなど、言葉がわからなくても楽しめるよう工夫して実施。
	つくってあそぼう	7月15日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	工作と読み聞かせを通して、読書に親しんでもらう。	52人	武庫川女子大学の学生と工作・読み聞かせを実施。幼児教育を学ぶ学生にとっては子供を知る機会となり、子供たちは、職員・大学生と接する機会となった。
	なるおとしよかん子ども夏祭り	8月2日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	2,370人	職員、イベントボランティア、小学校図書ボランティア、自治会等50人余りのボランティアの協力で開催した。多くの参加者があり、毎年楽しみにされている行事である。地域に根差した図書館として今後も継続していきたい。
	としよかんで世界いっしょう!	8月23日(水)	鳴尾図書館	幼児、保護者	外国語の絵本読み聞かせや、言葉遊びを通して異文化に親しむ。	23人	国際交流協会との共催。市内在住のブラジル人、ロシア人から母国の話を聞き、それぞれの国にちなんだ絵本を紹介し、読み聞かせを実施した。異文化を知る良い機会となった。
	よるのとしよかん	9月8日(金)	鳴尾図書館	児童、保護者	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	42人	職員、ボランティア、自治会で担当。初参加の自治会からは好評で、「宮っ子」の取材もあった。自治会の参加もあり地域に根差した図書館として認識されてきている実感がある。子供にとっては、普段入れない夜の図書館はわくわくして楽しい経験であり、図書館の周知につながっている。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	夏休みカウンタ―	7～8月	鳴尾図書館	児童	夏休みの自由研究の参考となる主題の図書紹介等を通して読書活動を支援する。	—	図書館職員、地域住民、ボランティアで夏休みの子供たちの自由研究や本探しのサポートをする。多くの子供たちが宿題をかかえて来館し図書館利用につながっている。調べる学習として、図書館の利用方法を知る機会にもなっている。
	あかちゃんもいっしょヘルマンハーブの音楽会	10月24日(水)	鳴尾図書館	乳児、保護者	親子で音楽を楽しむことでリラックスしてもらい、図書館利用のきっかけとする。	80人	赤ちゃんへの読み聞かせと、ヘルマンハーブ演奏グループのボランティアによる音楽演奏。乳児を連れて来館する来館者も音楽を楽しみ、図書館では敬遠される音楽も来館のきっかけとなることを実感した。
	ぬいぐるみのおとまり会	11月1日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学生	読書週間行事として、ぬいぐるみを活用し子供の想像力を育む。	32人	子供が持参したぬいぐるみとともに読み聞かせを聞き、その後ぬいぐるみを図書館に預ける。返却時に図書館からお勧めの本を紹介し、本とぬいぐるみを一緒に写した写真を配付。本により親しみを感じる機会となった。
	なるおとしよかんクリスマスおはなし会	12月13日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親んでもらう。	40人	ボランティア、武庫川女子大生、職員で担当。通常のおはなし会より多くのクリスマス絵本の読み聞かせを実施。参加者も多く、開催者相互の連携を深めることができた。
	みんなであそぼう	12月16日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	音楽と読み聞かせを通して読書に親しむ。	54人	武庫川女子大との共催事業。音楽演奏と古典や名作にとらわれない学生らしい読み聞かせを実施した。
	クリスマスって何の日？	12月23日(土・祝)	鳴尾図書館	幼児～	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親んでもらう。	29人	大手前大学の吹奏楽部がボランティアとして参加し、クリスマスソングの演奏や読み聞かせを行った。関連本の展示。
	ほんおみくじ	1月5日(土)～1月14日(月・祝)	鳴尾図書館	幼児～小中学生	自分では選ばない意外性のある本との出会いづくり。	247人	おみくじをひいて本を選び、知らない本との出会いを提供し読書の楽しさを広げることができた。
	中国の絵本を読もう中国の話さこう	2月15日(木)	鳴尾図書館	小学生～	同じ絵本を中国語と日本語で交互に読み、外国語の響きや異文化に親しむ。	13人	国際交流協会との共催で、市内の留学中の中国人学生が中国語の絵本を読んだり、中国の正月行事等のお話を実施。異文化に親しむことにより、外国への興味を引出し、異文化についての本を読む機会となった。
	おひなさまおはなし会	3月3日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学生	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書に親んでもらう。	23人	自治会から寄贈を受けた雛飾りの前で、ボランティアがひな祭りになんだ絵本の読み聞かせを行った。日本の伝統に触れ、関連する本を読む機会となった。
	なるぞ図書館員	3月28日(水)、29日(木)、31日(土)	鳴尾図書館	小学生	図書館業務の体験を通して、読書や図書館に興味を持ってもらい、親んでもらう。	16人	1～3年生、4～6年生に分かれてカウンタ―業務など図書館業務を体験してもらった。31日には高学年生によるおはなし会も行った。図書館の仕事を経験することで図書館周知につながった。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	おりがみ屋さん	月2回程度	鳴尾図書館	児童～	世代を超えたつながりを作り、関連する本を通して、読書や図書館に親んでもらう。	10人/回	子供が折りたいた作品を職員と一緒に折り、興味のある子供には折り紙の本を借りてもらい、継続している行事で子供の好きな折り紙を通して本への興味を引き出している。
	おはなし会	毎週水曜日、毎月第1火曜日、第2・4土曜日	鳴尾図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	1,112人	毎週楽しみに来られる固定の利用者がいる。おはなしは子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながると考え、継続している。
	シオンおはなし会	毎月1回	児童デイサービスシオン	小学生～高校生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	60人	放課後等デイサービスで読み聞かせを実施。障害のある子供にも読書を楽しんでもらう図書館活動につなげたい。
	みんなのすきな本おしえて！	4月7日(金)～5月7日(日)	北口図書館	主に小学生	子ども読書の日にちなみ、子供たちが本に親しみを感じ、読書へのきっかけとなること。	165人	記入用紙を掲示板に貼り付け、全体で1枚の大きな絵になるようにし、児童コーナーに展示した。自分の書いた用紙が展示されることで、子供たちの参加意識、読書意欲が高まった。
	えほんであそぼう「にじいろのさかな」	4月19日(水)	北口図書館	幼児、保護者	子ども読書の日にちなみ、子供たちが本に親しみを感じ、読書へのきっかけとなること。	37人	DVD上映の後、関連する絵本の読み聞かせや手遊び、魚をつくる工作を行った。様々な方法で物語に触れたことで、魚の工作の際には工夫を凝らす子供が多かった。
	10代のためのよむ処方箋	5月2日水～5日31日(木)	北口図書館	中・高校生	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	—	本の題名が分からないよう袋に入れて展示したところ、多数の貸出があった。読書量が減っている中高生を中心に本への興味を引き出すきっかけとなった。
	夢への一歩“憧れの職業”脚本家さんに聞いてみよう！	8月1日(火)	北口図書館	主に中・高校生	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	35人	脚本家を講師に招き、仕事内容や職業等を選択した経緯を聞き、簡単に物語を作成するワークショップを行った。作家や演出に興味のある参加者が集まった。
	小学生のためのこわーいおはなし会	8月8日(火)	北口図書館	小学生、保護者	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親んでもらう。	47人	おはなしボランティアの協力で開催。読み聞かせ、ストーリーテリング、手遊び、小道具を利用するなど様々な手法で行った。おはなしボランティアが夏に行う児童行事として定着している。
	ブックトークと工作教室“いるの？いないの？”	8月15日(火)	北口図書館	小学生	工作等を通して、夏休みの自由研究の参考となる主題の図書紹介につなげる。	17人	外国や日本、また空想の様々な怖いお話をブックトークで紹介し、子供たちの興味を惹きつけた。おはなしの工作もを行い、関連本を紹介した。
	とよかんで世界いっしょう！	8月24日(木)	北口図書館	小学生、保護者	日本に住んでいる外国人を招いて、各国を紹介してもらうことにより、子供たちの多文化への理解を深める。	48人	国際交流協会との共催事業。フィリピンとカナダの方に講師をお願いして、母国について紹介してもらい、関連する絵本や読み聞かせ、クイズを行った。外国の文化や言葉を楽しむ機会となった。
	みんなのPOP展	11月3日(金)～12月6日(水)	北口図書館	中・高校生	同年代で紹介する本を展示することで、新しい本に出会う機会とする。	264人	トライやるウィーク参加者や近隣の中学校から借出したPOP作品を展示し、来館者が良いと思った作品に投票する形式で展示を行った。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
北口図書館	おふろでほっこり	11月21日(火)	北口図書館	幼児、児童、保護者	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	33人	「おふろにまつわるおはなしを大型絵本や紙芝居、手遊びを交えて行い、その後おはなしかみ工作をした。通常のおはなし会を拡大して開催した。
	クリスマスおはなし会	12月19日(火)	北口図書館	幼児、保護者	季節にちなんだ集會行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	30人	クリスマスに関するおはなしの大型絵本の読み聞かせや紙芝居等を行い、折り紙でサンタを作り、クリスマスツリーに貼り付けた。
	百人一首かるた大会	2月24日(土)	北口図書館	小学5年生以上の10代	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	22人	神戸大学の学生の協力により実施。中高生が憧れを抱く大學生が講師となってきた説明や対戦を行った。
	図書館のひみつ探検隊	3月27日(火)	北口図書館	小学生	図書館の施設や仕組みを知ることにより、子供たちの読書への関心を高める。	18人	館内見学や説明、各分類の本を紹介したため、様々な本に興味を持ってもらう機会となった。
	おはなし会	開館日	北口図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらおう。	7,928人	毎日おはなし会を行うことで、来館した子供がいつでも読書に興味を持てる環境を、ボランティアの協力により提供できた。特に0～2歳対象のおはなし会は毎回参加者が多く、好評を得ている。土・日曜のおはなし会は小学生までを対象にしているが、低年齢化しており、小学生は減少傾向にある。おはなしは、子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながると考え、継続している。
中央図書館 山口分室	StoryTimeえいごのおはなし会	5月27日(土)、7月22日(土)、9月23日(土)、11月25日(土)、1月27日(土)	北口図書館	概ね4～7歳	翻訳ではない絵本本来の文章のリズムや英語に触れる機会を作る。	173人	神戸女学院大学の協力により、英語を母語としている読み手による絵本の読み聞かせを行っている。小さな子供たちの姿もあり、保護者の英語教育への関心の高さを感ずる。
	おはなし会	毎月第2木曜日	山口分室	幼児～小学生	絵本などの読み聞かせを通して、読書に親しみを持ってもらおう。	10人/回	おはなしを楽しむことで、本への興味につながっている。おはなし会が来館のきっかけになっている。

全国学力・学習状況調査（文部科学省）〔抜粋〕

実施主体：文部科学省

調査対象：国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童・生徒

調査内容：①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

＜質問紙調査 結果より（抜粋）＞ ※いずれも単位は「％」

1 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学生		2時間以上	1時間以上	30分以上	10分以上	10分より少ない	全くしない	中学生		2時間以上	1時間以上	30分以上	10分以上	10分より少ない	全くしない
H29	全国	6.9	9.9	19.7	26.8	16.1	20.5	H29	全国	5.7	8.3	15.2	22.2	12.8	35.6
	西宮市	6.7	9.5	17.6	27.1	16.7	22.5		西宮市	4.5	6.4	11.4	16.6	13.3	47.8
H25	全国	6.1	10.3	20.2	26.3	16.2	20.8	H25	全国	5.6	8.7	15.2	21.9	12.6	36.0
	西宮市	6.4	9.2	18.9	25.5	17.0	23.0		西宮市	3.8	6.0	12.3	16.7	13.9	47.2

2 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

小学生		週に4日以上	週に1～3回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	ほとんど行かない	中学生		週に4日以上	週に1～3回程度	月に1～3回程度	年に数回程度	ほとんど行かない
H29	全国	3.0	12.6	23.0	28.6	32.4	H29	全国	2.2	5.9	11.3	22.5	58.0
	西宮市	0.9	6.6	20.8	32.1	39.3		西宮市	2.9	4.6	10.4	23.4	58.8
H25	全国	3.7	16.8	24.4	25.3	29.4	H25	全国	2.4	6.8	11.3	21.2	58.0
	西宮市	1.5	9.6	24.5	28.9	34.9		西宮市	3.0	5.9	11.4	24.1	55.5

3 新聞を読んでいますか

小学生		ほぼ毎日	週に1～3回程度	月に1～3回程度	ほとんど読まない	中学生		ほぼ毎日	週に1～3回程度	月に1～3回程度	ほとんど読まない
H29	全国	7.8	13.2	19.2	59.6	H29	全国	5.3	9.6	15.5	69.5
	西宮市	11.0	12.7	15.2	60.9		西宮市	6.7	10.0	13.3	69.8
H25	全国	*	*	*	*	H25	全国	*	*	*	*
	西宮市	*	*	*	*		西宮市	*	*	*	*

※H25は、質問項目なし

※H25は、質問項目なし

4 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）

小学生		よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど見ない	中学生		よく見る	時々見る	あまり見ない	ほとんど見ない
H29	全国	54.5	30.1	9.4	6.0	H29	全国	51.8	34.9	8.6	4.4
	西宮市	51.3	31.6	10.3	6.6		西宮市	50.9	35.3	9.2	4.4
H25	全国	*	*	*	*	H25	全国	*	*	*	*
	西宮市	*	*	*	*		西宮市	*	*	*	*

※H25は、質問項目なし

※H25は、質問項目なし

5 読書は好きですか

小学生		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	中学生		当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
H29	全国	49.0	25.3	15.2	10.3	H29	全国	46.1	23.8	16.4	13.4
	西宮市	48.1	23.0	16.9	11.9		西宮市	37.1	24.0	19.4	19.2
H25	全国	47.8	24.3	16.2	11.5	H25	全国	46.2	23.9	16.6	13.0
	西宮市	48.0	21.9	16.4	13.3		西宮市	37.6	22.1	19.6	20.3

読書に関する保護者アンケート

調査対象：市立小中学校に通う子供の保護者

調査方法：西宮市PTA協議会を通じ、各学校PTAに協力依頼

調査期間：平成30年6月27日（水）～7月20日（金）

回答数：小学校609名 中学校：123名 計732名

1 あなたは子供の頃、同年代の子供と比較してよく本を読んだほうだと思いますか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①はい	215	35.4	60	48.8	275	37.6
②いいえ	236	38.8	37	30.1	273	37.4
③どちらでもない	157	25.8	26	21.1	183	25.0
回答計	608	100.0	123	100.0	731	100.0

2 あなたのお子さんが赤ちゃんの頃、絵本の読み聞かせをしましたか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①日常的にした	278	45.6	71	57.7	349	47.7
②時々した	313	51.4	45	36.6	358	48.9
③全然しなかった	18	3.0	7	5.7	25	3.4
回答計	609	100.0	123	100.0	732	100.0

3 あなたのお子さんが幼児(2～6歳)の頃、絵本の読み聞かせをしましたか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①日常的にした	274	45.0	74	60.2	348	47.6
②時々した	322	52.9	47	38.2	369	50.4
③全然しなかった	13	2.1	2	1.6	15	2.0
回答計	609	100.0	123	100.0	732	100.0

4 お子さんのために本を購入していますか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①よく購入する(月1冊以上)	166	27.3	21	17.1	187	25.6
②時々購入する	381	62.7	87	70.7	468	64.0
③購入しない	61	10.0	15	12.2	76	10.4
回答計	608	100.0	123	100.0	731	100.0

5 市立図書館でお子さんのために本を借りますか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①よく借りる(月1冊以上)	145	23.8	8	6.5	153	20.9
②時々借りる	271	44.6	63	51.2	334	45.7
③借りない	192	31.6	52	42.3	244	33.4
回答計	608	100.0	123	100.00	731	100.0

6 あなたのお子さんは本をよく読まれますか。

	小学生		中学生		計	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
①よく本を読んでいる(月4冊以上)	243	39.9	27	22.0	270	36.9
②時々読んでいる(月3冊以下)	311	51.1	73	59.3	384	52.5
③全く読まない	55	9.0	23	18.7	78	10.6
回答計	609	100.0	123	100.0	732	100.0

用語説明

	語句	説明
1	学校読書調査	(公社)全国学校図書館協議会と(株)毎日新聞社が共同で、全国の小学校4年生から高等学校3年生までの児童・生徒の読書状況について毎年行う調査。
2	マザークラス	妊婦を対象にした講座。出産や育児について講義や実習を行う。
3	西宮市小学校図書館の学習基本図書	小学校教諭が作成した、教科学習等のために学校図書館に整備することが望ましいとされる図書をまとめた冊子。
4	学校図書館指導員	学校図書館教育担当者(司書教諭)を補助する者。環境整備や図書のデータベース化、児童・生徒や教師への授業支援及び読書支援等を行う。また、保護者などによる学校図書館ボランティアと協力して、学校図書館の充実を図る役割を担う。「司書」または「司書教諭」の資格を持つ。
5	「いずみ」(EduNet)	「西宮市教育情報ネットワークシステム」(EduNet)内において、児童・生徒や教師がすぐに活用できる補助教材や資料を保存している学習情報のこと。
6	読み聞かせ	読み手だけが本を持ち、子供に読んで聞かせること。
7	聞かせ読み	読み手を含め全員が本を持ち同じページを開けながら、読み手の読みに合わせ子供も文字をたどり、目と耳で読んでいくこと。
8	アニメーション	同じ本を読んだ複数の参加者が、クイズを出したり、内容について話し合ったりして読書の楽しみを引き出す方法。
9	ブックトーク	ひとつのテーマについて複数の本を紹介すること。聞き手に読みたいという気持ちを抱かせることを目的とする。
10	読書ノート	読んだ本の感想などが記入できるようになっている西宮市独自のノート。小学校低学年、中学年、高学年用がある。
11	ビブリオバトル	発表者(5人程度)が好きな本を紹介し、参加者から質問を受けた後、参加者が読みたくなった本を投票して、「チャンプ本」を決定する書評会。

	語 句	説 明
1 2	公用貸出	市立図書館が学校図書館などに資料を貸出すこと。
1 3	相互貸借	自館にない資料を所蔵する他館から借受け、又は、自館の資料を所蔵していない他館に貸出すこと。
1 4	親子サロン	子育て総合センター内にある子育て広場。就学前の子供とその保護者が自由に集い、子供同士の関わり合いをとおして、保護者同士もふれ合い、学び合い、支え合い、分かち合い、育て合う場をいう。
1 5	OECD	先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、経済成長・貿易自由化・途上国支援に貢献することを目的とする組織。
1 6	レファレンス	図書館員が、児童・生徒の必要な情報や資料を提供したり、本を紹介すること。
1 7	LLブック	難しい漢字や長い文章は使わず、ふりがな、写真、絵などを用いて読みやすく工夫された本。
1 8	読書クイズ	本の内容や読書によって得られる知識をクイズ形式にして楽しむこと。
1 9	多読資料	辞書を引かずに読めるやさしい英語の本。簡単なレベルから始めて、多くの本を読むことで、英語を日本語に置き換えるのではなく、英語として理解できるようになることを目指している。
2 0	放課後等デイサービス	児童福祉法に基づき、障害のある児童・生徒が放課後や学校休業日に通う療育機能・居場所機能を備えた福祉サービス。
2 1	適応指導教室	長期間学校に登校できない状態にある児童・生徒に対して、学校復帰のための支援を行う教室。